



Rule Making Project

# 丹高ニュース

～ 豊かな学びの実現 ～

No21

令和7年2月17日(月)

ルールメイキングプロジェクト2024

～“やってみたい”の創造へ～

## ルールメイキング・ナビ@神拝小学校



対話をしながら催しの企画を考える小学生と高校生

小学生と高校生が対等に話し合い、一つのイベントを企画する講座が14日、西条市神拝の神拝小学校であった。同校の6年生約



**小学校 催しはどうする?**  
西条 児童・高校生 対等に対話

120人と、丹原高校生約30人が参加。対話を意識しながら、3月に小学校で行う催し物の企画を考えた。神拝小は対話を重視した教育方針を打ち出し、授業などに話し合う場面を多く設ける取り組みを実施。対話によって課題解決のプロセスを考える「ルールメイキングプロジェクト

ト」に取り組み丹原高に協力を打診し、初めて連携が実現した。児童は4～8人程度の班に分かれ、各自の希望を出し合った上で、場所の調整や実現可能性などを協議。希望を集約し、スポーツ大会やお菓子作り、クイズラリーなどの催しを行うことに決めた。当日までの準備や役割分担も子どもたちが意見を出し合い、計画を練った。

同高2年の佐々木真央さん(17)は「小学生ならではの斬新な意見もあり、刺激になった。できるだけ多くの意見を反映できるように対話を進めた」と語り、同小6年武田春香さん(12)は「高校生の助けもあり、みんなの考えをまとめることができた。中学生になっても、対話の大切さの学びを生かしたい」と話していた。(高橋圭夫)

高校生は児童の希望や考えを引き出したり、計画をまとめる際のアドバイスをしたりした。話し合いを続けるうちに徐々に打ち解け、小学生と高校生の対話が成立するようになっていた。

「ト」に取り組み丹原高に協力を打診し、初めて連携が実現した。児童は4～8人程度の班に分かれ、各自の希望を出し合った上で、場所の調整や実現可能性などを協議。希望を集約し、スポーツ大会やお菓子作り、クイズラリーなどの催しを行うことに決めた。当日までの準備や役割分担も子どもたちが意見を出し合い、計画を練った。

「ト」に取り組み丹原高に協力を打診し、初めて連携が実現した。児童は4～8人程度の班に分かれ、各自の希望を出し合った上で、場所の調整や実現可能性などを協議。希望を集約し、スポーツ大会やお菓子作り、クイズラリーなどの催しを行うことに決めた。当日までの準備や役割分担も子どもたちが意見を出し合い、計画を練った。

「ト」に取り組み丹原高に協力を打診し、初めて連携が実現した。児童は4～8人程度の班に分かれ、各自の希望を出し合った上で、場所の調整や実現可能性などを協議。希望を集約し、スポーツ大会やお菓子作り、クイズラリーなどの催しを行うことに決めた。当日までの準備や役割分担も子どもたちが意見を出し合い、計画を練った。

「ト」に取り組み丹原高に協力を打診し、初めて連携が実現した。児童は4～8人程度の班に分かれ、各自の希望を出し合った上で、場所の調整や実現可能性などを協議。希望を集約し、スポーツ大会やお菓子作り、クイズラリーなどの催しを行うことに決めた。当日までの準備や役割分担も子どもたちが意見を出し合い、計画を練った。

ルールメイキングプロジェクトが校種の枠を超え、活動を拡大!

神拝小学校と丹高のルールメイキングが大切にしている「対話」がコラボし、小学生の「やってみたい」の実現のお手伝いをしました。みんなにとって楽しいイベントを創ってください!